

朝倉彫塑館通り沿道におけるまちづくりについて

1 背景・目的

朝倉彫塑館通り沿道に位置する谷中五丁目遺贈地及びすぺーす小倉屋について、運営事業者等選定のため、プロポーザルを実施しているところである。今般、谷中五丁目遺贈地において縦穴が発見され、令和7年度に調査・設計等を行ううえで敷地内の安全性の確認が必要となったため、レーダー等による地下空洞調査を実施し、敷地内の空洞の位置や規模を把握し、対策を講じる。

2 経緯

- | | |
|----------|---|
| 令和5年3月 | 谷中五丁目遺贈地にて建物解体工事中、縦穴を発見、埋戻す。 |
| 令和5年12月 | 埋蔵文化財予備調査を実施。 |
| 令和6年2月 | 二か所目の縦穴を発見。 |
| 令和6年3月 | 安全対策として、穴二か所上部に板を設置の上、バリケードで囲む。 |
| 令和6年5月以降 | 地域住民からの情報提供等により、想定よりも地下空間の規模が大きい可能性が判明。 |

3 調査の実施について

(1) 実施方法

地中レーダー探査及び高精度表面波探査

(2) 調査範囲

敷地全体(別紙のとおり)

4 補正予算額(案)

歳入 3,803千円

歳出 5,071千円

5 今後の予定

令和6年11月～ 調査実施

N

